

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	人権同和对策課人権啓発推進センター長 吉本 祐子	電話番号	0852-22-6849
----------	--------------------------	------	--------------

事務事業の名称	人権研修事業		
目的	(1) 対象	行政機関職員等	
	(2) 意図	人権・同和問題への理解を深め、実践力を高める。	
事業概要	県職場研修推進員・新規採用職員等研修事業：研修技術の向上及び人権意識を高めるために、人権・同和問題職場研修推進員及び新規採用1年目、2年目職員に対して、研修会を開催する。 地域行政関係者研修事業：人権・同和問題についての理解と認識を深めるために、県・市町村の行政職員等に対して、地域別に研修会を開催する。 講師派遣事業：人権・同和問題への理解を深めるために、行政機関、企業、団体等に対して研修会の講師を派遣する。 ハンセン病問題現地研修：ハンセン病問題に関する正しい知識の普及と啓発を進めるため、県職員を対象にハンセン病療養所における現地研修を実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 研修会への参加者数	目標値		19,000.0	19,000.0	19,000.0	19,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 各活動の参加者数の合計	実績値	18,110.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	15,015	19,332
うち一般財源 (千円)	15,015	19,332

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度の研修参加者数は18,110人で、前年度の実績を約1,900人下回った。これは、県職場研修受講者の減（約1,200人）と啓発指導講師の減員による講師派遣事業に係る参加者の減（約800人）のためである。
 平成27年度から3年間の重点取り組みとして開始したハンセン病問題現地研修については、102名の参加があり、うち職場研修推進員は79名（推進員の約30%）であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成27年度から、推進員研修において参加・体験型プログラムによる研修を取り入れた。研修後のアンケートでは、「大変参考になった」と回答した者の割合が10%増加し、25%であった。
- ハンセン病問題現地研修については、参加者の感想から、この問題についての認識が深まったことが推察される。
- 職場研修においてハンセン病問題を取り上げた所属が、前年度の34所属から41所属に増加した。
- 行政機関、企業、団体等において、継続して研修が実施されている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 年2回以上の職場研修の実施や全職員の参加が難しい職場がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ・人権・同和問題研修は難しいといったマイナスイメージから、実施時期が遅くなり、2回以上の実施や全職員の参加が難しくなっていると考えられる。
- ③原因を解消するための「課題」
 ・職場研修の取組例や研修教材、最近の人権課題についての情報提供の方法
 ・職場研修としての公開講座の活用方法

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 行政職員等に対する研修を継続する。
- 推進員研修において、職場研修の取組例や研修教材、最近の人権課題についての情報提供を充実する。
- 年度当初において、公開講座の情報提供を速やかに行う。
- 研修方法として、参加・体験型研修を引き続き取り入れる。
- LGBT、ヘイトスピーチ等の新たな人権課題に対する研修を実施する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）